

令和 6 年度青臨技精度管理問題

生理検査部門（解答・解説）

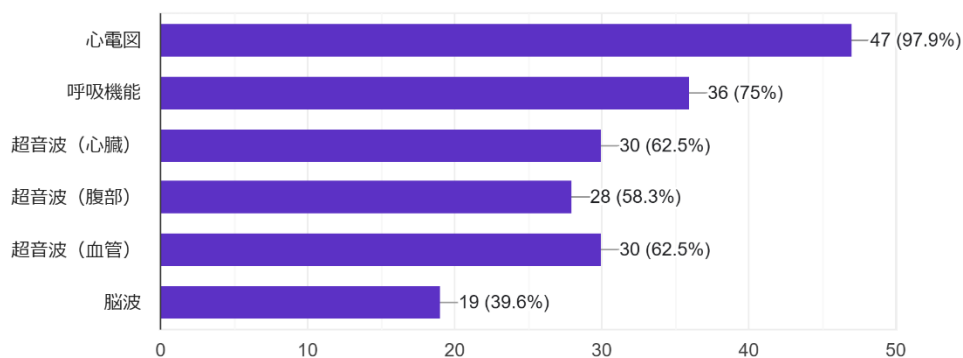
部門長 : 武田 美香（弘前大学医学部附属病院）
精度管理委員 : 柳沢 佳代子（八戸赤十字病院）
設問提示協力者 : 松井 理紗（むつ総合病院）
佐藤 舞（青森県立中央病院）
石鳥 純子（青森県立中央病院）

【設問内訳】

心電図 5 問、呼吸機能 2 問、心エコー 1 問、腹部エコー 1 問、血管エコー 1 問、脳波 2 問の計 12 問出題

【参加施設数】

48 施設（心電図：47 施設、呼吸機能検査 36 施設、心エコー 30 施設、腹部エコー 28 施設、血管エコー 30 施設、脳波 19 施設）



【評価対象外設問】

正答率が 80% 以下の設問 4、設問 5、設問 7、設問 11 は臨床検査精度管理調査フォトサーベイ評価法に関する日臨技指針に基づき評価対象外とする。

【結果】

評価対象外を含めた、各部門の全問正答率と施設数（表 1）、評価対象の各部門の全問正答率と施設数（表 2）、総括表（表 3）を以下に示す。評価対象外の設問 4～5 の全問正解は 25 施設（53.2%）、設問 7 の正解は 23 施設（63.9%）、設問 11 の正解は 15 施設（78.9%）であった。

表1 各部門の全問正解率と施設数（評価対象外を含む）

	心電図	呼吸機能	心臓	腹部	血管	脳波
正答施設数/参加施設数	23/47	22/36	30/30	25/28	28/30	13/19
%	48.9	61.1	100	89.3	93.4	68.4

	心電図	呼吸機能	心臓	腹部	血管	脳波
正答施設数/参加施設数	38/47	31/36	30/30	25/28	28/30	17/19
%	80.9	86.1	100	89.3	93.4	89.5

表3 各設問の総括表

設問	正解	選択肢	件数	%		評価
1	○	1.右胸心	0	0.0%		
		2.四肢電極の左右付け間違い	45	95.7%		
		3.急性心筋梗塞	1	2.1%		
		4.正常心電図	0	0.0%		
		5.上室期外収縮	1	2.1%		
2	○	1.心房頻拍	1	2.1%		
		2.通常型房室結節リエントリー頻拍	6	12.8%		
		3.順方向性房室回帰頻拍	40	85.1%		
		4.心房細動	0	0.0%		
		5.心房粗動	0	0.0%		
3	○	1.前壁中隔急性心筋梗塞	0	0.0%		
		2.側壁急性心筋梗塞	0	0.0%		
		3.下壁急性心筋梗塞	1	2.1%		
		4.下壁および右室急性心筋梗塞	46	97.9%		
		5.急性肺塞栓症	0	0.0%		
4	○	1.たこつぼ心筋症	36	76.6%		評価対象外
		2.劇症型心筋症	4	8.5%		
		3.急性前壁梗塞	2	4.3%		
		4.急性下壁梗塞	2	4.3%		
		5.急性側壁梗塞	3	6.4%		
5	○	1.右室中隔に留置したリード線の脱落	28	59.6%	(未回答を除く)	評価対象外
		2.右室心尖部に留置したリード線の脱落	8	17.0%	62.2%	
		3.ヒス束に留置したリード線の脱落	3	6.4%	17.8%	
		4.急性冠症候群	2	4.3%	6.7%	
		5.センシング不全	4	8.4%	4.4%	
		6.未回答	2	4.3%	8.9%	
6	○	1.全て妥当性・再現性が得られている	31	86.1%		
		2.アーチファクトがあるため、再検査の必要がある	1	2.8%		
		3.外挿気量が妥当性の基準から外れているため、再検査の必要がある	4	11.1%		
		4.再現性が得られていないため、再検査の必要がある	0	0.0%		
7	○	1.VC:検査1 FVC:検査A	23	63.9%		評価対象外
		2.VC:検査1 FVC:検査B	2	5.6%		
		3.VC:検査1 FVC:検査C	1	2.8%		
		4.VC:検査2 FVC:検査A	5	13.9%		
		5.VC:検査2 FVC:検査B	3	8.3%		
		6.VC:検査2 FVC:検査C	2	5.6%		
8	○	1.心房中隔欠損症	0	0.0%		
		2.心室中隔欠損症	0	0.0%		
		3.動脈管開存症	30	100.0%		
		4.肺動脈弁狭窄症	0	0.0%		
		5.肺動脈弁閉鎖不全症	0	0.0%		
9	○	1.閉塞性黄疸が疑われる	27	96.4%		
		2.膵頭部に後方エコーの増強を伴う無エコー像を認める	1	3.6%		
		3.管内胆管の拡張は認めない	1	3.6%		
		4.総胆管の拡張は認めない	0	0.0%		
		5.脘体部～尾側の主膵管拡張を認め、膵頭部腫瘍(悪性)が疑われる	26	92.9%		
(内訳)	◎	1、5	25	89.3%		
		1、2	1	3.6%		
		1、3	1	3.6%		
		5	1	3.6%		
		5	1	3.6%		
10	○	1.左鎖骨下動脈盗血現象が疑われる	28	93.3%		
		2.左椎骨動脈起始部狭窄が疑われる	2	6.7%		
		3.左椎骨動脈に逆行性血流を認める	29	96.7%		
		4.左椎骨動脈は順行性血流である	1	3.3%		
		5.上腕動脈波形に左右差を認めない	0	0.0%		
(内訳)	◎	1、3	28	93.4%		
		2、3	1	3.3%		
		2、4	1	3.3%		
11	○	1.異常所見である	3	15.8%		評価対象外
		2.呼吸性アシドーシスに起因する所見である	1	5.3%		
		3.通常、過呼吸終了後1分以内に元の波形に回復する	16	84.2%		
		4.成人より小児で観察される頻度が高い	18	94.7%		
		5.この波形が出現したら、測定を中止する	0	0.0%		
内訳	◎	3、4	15	78.9%		
		1、4	3	15.8%		
		2、3	1	5.3%		
12	○	1.約3Hzの全周期性高振幅の棘徐波複合を認める	1	5.3%		
		2.未治療の場合は過呼吸賦活により高確率で誘発される	1	5.3%		
		3.四肢の間代性けいれんがみられる	17	89.5%		
		4.全般てんかんである	0	0.0%		
		5.意識減損の有無を確認する	0	0.0%		